

天塩町地域おこし協力隊 活動報告 2015

(平成 27 年度)

9～10 月 (役場企画商工課所属 和田恵一、稲垣新)

北の恵み 食べマルシェ 2015 への参加(9 月 21～23 日)



私たち、新人協力隊として初となる町外での活動となりました。

北の恵み食べマルシェは道北の食が一同に集まるイベントです。

「冷凍しじみ」「chuchu プリン」「しじみ」「べこちちチーズ」や「てしおキムチ」など天塩町の特産品の PR 販売を行いました。

3 日間大盛況で、全品完売。

最初は、同じブースにいた方々の見よう見まねでしたが

徐々に慣れていき、自然と声を出して商品の PR 販売を行っていました。

このイベントの中で「天塩のシジミはすごく美味しい」、「てしおキムチ美味しくて、昨日買ったけど今日も買っていきます」

といった声を多数聞き、天塩町やその特産品に関して、より興味関心が深まると同時に

旭川をはじめとした地域の方々が天塩町に持つイメージなどを感じるがことが出来た貴重なイベントでした。

商品を単純に売るだけでなく「天塩の大きなシジミは出汁も良くとれ、みそ汁にすると最高」といった

ストーリー性を持った PR を行うことが消費者の購買意欲を掻き立て

天塩町のこれからの販売戦略には必要不可欠ではないかと感じました。

「留萌振興局管内地域おこし協力隊セミナー」(9 月 29 日)



上記セミナーに参加しました。(河上隊員、和田隊員、稲垣隊員)

NPO法人地域おこし協力隊理事長 武田氏、北海道観光まちづくりセンター代表社員 宮本氏による講演、各地域おこし協力隊からの活動報告、意見交換が行われました。
又、留萌管内の各市町村地域おこし協力隊員との交流も持てた有意義なセミナーでした。

札幌羊ヶ丘展望台オータムフェスト物販イベント(10月10～11日)



さっぽろ羊ヶ丘展望台事務局主催による「北海道カキ・海鮮まつり」の一環として展望台レストハウス内にて、天塩町の特産品の物販を行いました。

修学旅行生やお子さん達に「コミック版天塩町パンフレット」を配布し、天塩町のPRとしては良いイベントとなりました。

天塩町かわまちづくり検討会(10/13)

(歴史チーム分科会、及び自然チーム分科会)



役場にて2つの分科会が開催され、私たち2名が参加しました。

検討会では、天塩川を活用したまちづくりの話し合いがされており、私たちには大変勉強となりました。

また、検討会のメンバーと交流することができ、大変有意義な会議となりました。

第1回天塩かわまちづくり検討会 代表者会議(10月19日)



社会福祉会館にて、上記の会議に初参加しました。

各分科会における話し合いのまとめ、及び今後の検討会の進め方について積極的な発言が多く、天塩のまちづくりにかける熱気が感じられる会議でした。

2015 天塩いも祭り(10月24日)



当日雨天のため、ミレニアムパークから中央町民会館に会場を変更して開催されました。

我々協力隊員は、主催の「町民農園友の会」と協力。「いも掘り、長ネギ抜き」などの事前準備の慌ただしい日々があつという間に過ぎ去り、気付けばもう当日本番！！

お子さんを連れた町民の方々には、天候不順の中にも係らず来て頂き、

「焼きいも」「揚げいも」「いも汁」「とろろご飯」の無料配布、

「小学生以下のお菓子つかみどり大会」「野菜重量当てクイズ」など、大盛況でした。

また、屋外での「野菜即売」も雨の中でしたが、良い売れ行きでした。

よりみちの駅フェスタ 2015 物販イベント(10月25日)



北海道留萌振興局主催「よりみちの駅フェスタ 2015」に出展しました。

「べこちち FACTORY」「てしおキムチ工房」の方々と共同でまちの特産品販売と、

「てしお仮面」着ぐるみの PR を行いました。

「てしお仮面」は子供達に大変人気があり、多くの方々と記念撮影を行いました。

特産品の売れ行きとしては、「ししじラーメン」が一番人気でした。

「地域の持続的発展を牽引する新たな観光協会のあり方に関する研究会

(10月28～29日)



さっぽろ羊ヶ丘展望台で開催され、町観光協会会長、事務局、協力隊2名が参加しました。

1日目は、北大観光学高等研究センター特任准教授の石黒氏による「DMOによるオンライン・プロモーション」についての講義の後、当町と鶴居町の観光協会の取り組みについて事例発表がありました。

2日目は(有)イオシス代表取締役 栗本氏による「Web プロモーションの状況とネット広告の収入モデルについて」の研修会が行われました。

スマートフォンの活用強化、及びバナー広告の添付による利潤について解説されていました。

(※)DMOとは「Destination Marketing/Management Organization、地域の観光マネージメントを一本化する着地型観光のプラットフォーム組織のこと。

ミズベリング天塩会議、及び天塩かわまちづくり検討会(10月30日)



天塩町社会福祉会館にて、天塩高校生47名をお迎えし、ミズベリング事務局による「ミズベリング会議 in 天塩」が開催され、協力隊員2名も参加。

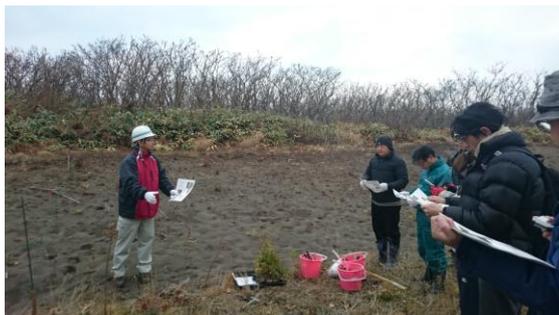
高校生ならではの斬新な発想に感心した会議となりました。

「ミズベリング」とは、身近な水辺を活用して地域に新たな賑わいを生み出すためのプロジェクトのことです。

会議終了後、第19回天塩かわまちづくり検討会が行われました。

高校生からの発案、意見を取り入れつつ、東京からお越しになった国土交通省(本省)、ミズベリング事務局と、具体案から実現化に向けた未来志向の話し合いが積極的に行われました。

かわまち計画 現地見学ほか（10月31日）



天塩かわまちづくり検討委員、NPO 法人天塩川を清流にする会、役場、企画商工課の皆様と一緒に、天塩かわまち計画（ハード整備）の現地見学に参加。

鏡沼周辺の野鳥観察に始まり、河川公園での視察をしました。

その後、天塩川沿いにて「在来草本類」についての説明、及び「センダイハギ」の植栽を行いました。

今回植栽した「センダイハギ」は来年6月ぐらいに可愛い黄色い花が咲くとのことです。

（※）「在来草本類」とは、日本に元々存在していた、樹木のように大きくなり、太く堅い幹を持たない植物。

町既存のスポーツ関係(体育協会や教育委員会が主催となるイベント)の運営補助を行いながら、スポーツ振興や健康増進の活動をメインに行い、町のスポーツ全般に関わっています。

- ・プール閉開設作業 ・ジョギング大会 ・町内会対抗ミニバレーボール大会、ソフトボール大会等の運営補助
- ・スキー場圧雪とリフト係 ・スキー大会 等

<スポーツ振興>

・スラックラインの普及 → 道の駅フェアや港まつりで体験スペースを設けてもらい認知度の向上を図り、その他、天塩町スポーツセンターにてスラックライン体験会を実施した。(今年度4回実施予定2回実施済み)



道の駅フェア



港まつり



スラックライン体験会 協力:NPO法人遠別町地域
おこし協力隊

・フロアボールの普及 → 道の駅フェアで体験スペースを設けてもらい認知度の向上を図り、その他スラックライン同様に天塩町スポーツセンターで体験会を実施した。(今年度4回実施予定2回実施済み)

また、今年行われた「天塩町キャンプフェスタ」のプログラム内に「フロアボール体験」を盛り込んでいただき参加者にフロアボールというスポーツの認知度向上と普及を図った。



道の駅フェア



フロアボール体験会



天塩町キャンプフェスタ 協力:一般社団法人北海道フロアボール普及プロジェクト

スラックラインとは 低地で行う綱渡りのようなイメージで年齢・性別問わず誰でも安全に遊べるスポーツです。

主に公園などの木と木の間を巻いて設置しますが、気軽に遊べる室内用のモノもあります。

また、集中力や体幹に効果的とされ、多くのプロスポーツ選手もスラックラインをトレーニングの一部に取り入れています。

フロアボールとは 防具をつけずにアイスホッケーのまねごとをする北欧発祥のスポーツです。

体当たりやスティックを顔の高さまで振上げるなど、危険な行為は一切禁止されています。北海道にはまだまだ根付いていないのが現状ですが、今年4回目となる「北海道フロアボール大会」が札幌で開催されるなど、各地で体験会も開催され徐々に広がりを見せています。

<健康増進>

運動教室の定期開催 → 通年を通してストレッチポール教室や外部講師に依頼しヨガ教室を開催。8月からはナイトウォーキングを開始するなど、運動の習慣化を目的に開催しています。
また、高齢者大学では健康増進を目的にレクリエーションを行った。



ストレッチポール教室



ヨガ教室 外部講師:豊富町 中島まなみ 氏



高齢者大学レクリエーション

<町外活動>

増毛町よりストレッチポール教室の開催依頼をいただき、8月24日から全4回実施した。また、10月からは豊富町からも依頼をいただき運動教室を実施予定。



<今後の活動予定>

今後も運動教室の継続と内容充実を図り、少しでも多くの人に体を動かす習慣を身につけてもらうために、運動教室の場を多く作り出したい。また、現状教育委員会と福祉課など個々に健康増進活動を行っているのをお互い協力しながら一本化していく必要がある。

スポーツ振興では、冬の子供たちの体力増進と外で遊ぶことを目的としてスノーホッケーの普及を目指したい。

昨年度は他の天塩町協力隊の協力を得て「スノーホッケースティックづくり体験」などを実施し認知度の向上を図った。今後は近隣町村との連携もしながら活動の場を広げ、天塩町だけではなく留萌管内にスノーホッケーというニュースポーツを浸透させたい。



スノーホッケーとは

子供達の冬の体力増進を目的に札幌市が考案したスポーツ。アイスホッケーのように激しいぶつかり合いはなく、スティックも腰の高さより上に上げると反則になるなど、安全に配慮したスポーツとなっています。

元々子ども向けに作られたスポーツで札幌市の多くの小学校でスノーホッケーが取り入れられているが、その楽しさから小学生だけにとどまらず、大人のリーグができる程今では幅広い年代でスノーホッケーが楽しまれています。